



学校教育目標
「志を持ち、心豊かでたくましく生きる生徒の育成」
～一貫教育のまとめとして、【15の春】を見据え、自立した生徒の育成をめざす～

授業改善



- ・個人思考と学び合い
- ・ICT機器の効果的活用
- ・事前学習の活用
- ・自主学習ノートの充実
- ・腑に落ちる評価
- ・言語活動の充実
- ・作文指導

重点目標1

確かな学力の育成

- ・生徒の自主的・主体的な学び
- ・指示を控え、自ら考える力の育成

教師力



- ・校内研修の充実
(生徒理解、集団づくり)
- ・授業研究
(生徒の「学び」を中心に)
- ・ICT活用力の向上
- ・村ネットへの参画

めざす生徒像

- 1 共に学び合い、確かな学力をもつ生徒 (知)
- 2 ふるさとに誇りをもち、心豊かで、互いを思いやる生徒 (徳)
- 3 心身ともに健やかでたくましくしなやかな生徒 (体)

重点目標2

豊かな心の育成

- ・自己肯定感・有用感の向上
- ・表現力・対人適応力の育成
- ・居心地良く高め合う集団づくり

重点目標3

困難に打ち勝つたくましさ

- ・ESDによる郷土愛と誇り
- ・我慢して努力を続ける機会の設定
- ・自ら進路を切り開く力の育成

心の教育 社会性の習得

- ・道徳教育の充実
- ・高め合う集団
- ・地域との連携、交流
- ・学校行事、部活動の充実
- ・SST(SELを含む)の計画的実施

特別支援教育



- ・特別支援教育の視点を取り入れた授業
- ・困難さに応じた指導の工夫
- ・教育的ニーズの把握

キャリア教育

- ・村の資源・人材を生かした
- ・職場訪問
- ・職場体験・森林体験学習 等
- ・進路学習 (職業、高校調べ)
- ・中学生「だっぴ」

12年間の成長（一貫教育が目指す姿）が実感できる場としての中学校

西栗倉村の基本となる取組

コミュニティ・スクールとして

ESDを柱とした幼小中一貫教育の推進

「百年の森林構想」を反映させた特色ある一貫教育

- ・幼小中それぞれの強みを学び合う機会の設定
(合同研修会、授業研究会、部会研修会)
- ・発達段階に応じた指導の検討
(学習規律、家庭学習、予習的課題と事前学習)
- ・成長を実感できる場 (合同運動会)
- ・地域貢献 (トイ・プロジェクト等)

家庭

- ・基本的生活習慣の確立
- ・PTA活動
- ・家庭学習習慣化
- ・メディアコントロール

地域

- ・学校運営協議会
- ・Nest(支援ボランティア)
- ・学校評価委員会
- ・外部評価委員会
- ・いじめ防止委員会
- ・関係機関